

残暑の厳しい中始まった 2 学期も、いよいよ今日で終わりです。大切に取り組んでいる日々の活動に加え、運動会・音楽会という大きな経験をした子ども達は、随分と逞しくなり、その表情も輝いて見えます。

私達は『行事は日常生活の延長上にある』と位置づけ、日頃行っていることをパートナーである保護者の皆様に観ていただきながら、子ども達の成長をともに支えて参りました。ひとつの通過点を終えた子ども達は、寒い朝も戸外での追いかけっこや鬼遊びを楽しみ、鉄棒、うんてい、縄跳び等では、基礎・基本を思い出して頑張っています。

また、毎朝 2 階から聞こえてくる合奏曲のピアノの音色や、満 3 歳・年少組が喜んで行っているダンス（他クラスのダンスも楽しそうです）等から、先日終了した音楽会の余韻が感じられます。園生活の様々な活動を通して、とりわけ“みんなで力を合わせることのすばらしさ”を実感した 2 学期でした。

今学期の経験を生かし、来る 3 学期もクラスとしての意識をより強く持って生活して参りたいと思います。

保護者の皆様には、子ども達の健康管理や係活動等でご協力いただきまして、ありがとうございます。心から感謝いたします。年末年始は、普段よりご家族で過ごされる機会が多いことでしょう。たくさん会話をし、たくさん触れ合って、楽しい“一家団欒”の時をお過ごしください。

新しい年が皆様にとりましてすばらしい一年となりますよう、お祈り申し上げます。

私達も楽器で遊ぼう！



年長に向け、マレットの正しい握り方を教えてもらいました。



前回は跳びがでるようになると、お友だちと一緒に跳びたくありません。



子ども達は幼稚園という集団生活の中で、様々な人とかかわり触れ合っています。

2 学期は、近隣の済々黌高校の生徒さんと交流する機会がありました。HPでもご紹介しましたが、この活動は家庭科授業の一環として『乳幼児と接する機会の少ない高校生に、子どもとのふれあいを通して乳幼児の心身の発達への理解を深め、幼いものや弱いものをいたわる心、愛しむ心を育てる』という目的の下、毎年行われているものです。（交流の様子はHPをご覧ください。）

先日、終了後のメッセージが高校から届けられ、各クラスで楽しかったことを振り返りました。勉強と部活の両立で忙しい毎日を送る生徒さん達にとっては、ホッと肩の力を抜いて過ごすことができた貴重な時間だったことが分り、私達も嬉しくなりました。以下に生徒さんの感想を一部紹介させていただきます。



★最初は不安でしたが、子ども達と一緒に活動をしてとても楽しかったです。そして最後には、楽しかったと思えることができたので、嬉しかったです。

★ワクワクした気持ちで園に一步足を踏み入ると、園児さんがキラキラした目で迎えてくれ本当に嬉しかったです。また、先生方の園児を褒められる姿、笑顔でやさしく注意、ご指導される姿に感動しました。そして、自分もこんなふうに温かく育ててもらってきたんだと考えることができました。

★普段、私の周りに小さい子どもがいないので、とても新鮮で楽しい時間を過ごすことができました。みんな元気いっぱい笑顔が絶えず、私たちが元気をもらいました。

★今回の体験を通して、子どものことがもっと好きになりました。この経験を生かして職業選択をしていきたいと思っています。